

環境にやさしい工夫：自然換気



風の通り道が
たくさんあって
気持ちいいね。

制限の下の力の窓から
空気が入って、上の力の窓
から出ていくんだ。
これは浴室の写真だよ。

空気は温度の差があると
風となって動きます。人工
の力を加えず自然に風がと
おるように窓の高さを工夫し、
温度差によって自然に
風が流れるようにしました。


機械で空気を動かすには
電気を使いますが、自然の
風を利用することにより、
使用する電気を減らします。

又、自然の風は人々をい
やします。




もどる

環境にやさしい工夫：アースチューブ(地中熱利用空調)



ここから
外の空気が
入って



アースチューブ(地中熱利用空調)

気温が季節によって変化
するのに比べ、土の中の
温度は、ほぼ一年中一定
で変わらないため、この
土のトンネルを通った空
気で自然の恩恵として、
部屋を夏は涼しく、冬は
暖かくなります。

地中に空気の
通り道をつくってある
んだね。この空間は建物の
基礎部分をうまく利用
しているんだ。

ここから
出てくるのか。

ここの中を
とおって

もどる

環境にやさしい工夫：自然採光



ねえ、パバ！
建物の上方に
窓がついてよ！

太陽の光ができるだけ建物
の中にとり込むように工夫し
ました。

あらゆる自然の光は、やわ
らかく暖かく人々と場所を包
み、いやします。

ロビーや、浴室更衣
室の上にも光を取り入れ
る窓がついているんだよ。
中庭をもつけることも、光を
とり込む工夫のひとつ
なんだ。

また、それは人工照明のた
め必要となる電気を減らし、
それは地球温暖化の原因とな
る二酸化炭素排出量の減少と
なります。




もどる

環境にやさしい工夫：地形を生かした建築計画



ちょっとふくまづな
建物の形は、地形に合わ
せながら自然採光や通風
上でも利となるような
配慮からだよ

もとの地形を生かした
建物の形や配置計画を行
いました。
3階建ての部分と、2
階建ての部分があったり、
南側の浴室が少し下がっ
ているのはそのためです。

できるだけ周囲の自然
に対してなじむような形
になるようにしています。

目の前はすく
ほくたちの
森だからね

だから、
『四万十の窓』の
南側の株も半フロア
下がっています。






もどる

環境にやさしい工夫：断熱

見えない
ところの工夫
だね。断熱は、
いわば建物が着
ているコート
なんだ。

外壁にしっかり断熱をする
ことで、この熱の伝わり方を
小さくすることができます。
つまり夏は外のあつい熱を入
りにくく、冬は室内のあたた
かい熱を逃がしにくくしま
す。

これにより、室内を冷房、
暖房するエネルギーを少なく
することができます。

もどる

環境にやさしい工夫：気の流れを導く建物配置



山から流れてきた
気は自然の
気流の流れ

東洋医学の考えかたに
そって、この地にある
エネルギーを取り入れ
ることを考えました。
山の峰からつた「気
のエネルギー」を建物
の内部に導くように、
気の流れに逆らわない
ような建物配置として
います。

この施設でみなさんに
「気の再生」をしてもら
いたいと願っています。

山から流れてきた
気は自然の
気流の流れ
から入って、メインホール
をとおって、窓の中庭に
たまると。

なんだか
元気になって
きたようじゃ。

ほくも



もどる